

## 「八千代町B & G 海洋センターのあり方」に対する パブリックコメント実施結果

令和8年1月4日から1月18日までの間、八千代町B & G 海洋センターのあり方に対するパブリックコメントを行った結果、3名の方から意見等をお寄せいただきました。

お寄せいただきました意見について、町の考え方等をまとめましたので、以下のとおり公表します。

### ○提出方法

提出方法	人数(人)
直接持参	0
郵便	0
FAX	0
電子メール	0
意見提出フォーム	3
合計	3

### ○意見の内容及び意見に対する町の考え方

意見提出者	提出された意見	町の考え方
1	<p>プールを潰すのは八千代町の意見に合わせるが、小学校のプール不足にどう対応していくのかを明確に決めていただきたい。</p> <p>実際、中結城小学校ではコロナ禍以降、海洋センターに町のバスで行っているが、海洋センターを潰した場合、小学校のプールは稼働できるのかをきちんと調べたうえで行なってほしい。</p>	<p>現在、町内5校の小学校のうち、2校の学校プールが老朽化により使用できない状況となっております。</p> <p>学校プールが使用できない2校につきましては、これまで海洋センターを活用して水泳授業を行っておりましたが、海洋センター廃止後はプールが使用可能な町内3校の学校プールを活用して、水泳授業を実施することを予定しております。</p> <p>授業の実施にあたりましては、児童の安全確保を最優先とし、移動手段や引率体制、安全管理に十分配慮するとともに、教育内容や授業時間に支障が生じないよう、学校間で連</p>

		<p>携を図りながら対応してまいります。</p> <p>今後も、児童の健全な成長と安全な教育環境の確保に努めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。</p>
2	<p>私は毎年プールを利用しています。自転車で自分で行ける遊び場所がなくなるのは嫌です。これからも利用したいです。</p>	<p>B &amp; G 海洋センターにつきましては、令和8年度は、例年通り夏季休業期間において、一般開放をする予定ですので、ぜひご利用していただければと思います。</p> <p>施設廃止後の令和9年度以降は、近隣のプール施設等をご利用いただくことになると思います。</p> <p>ご理解のほどよろしくお願ひいたします。</p>
3	<p>老朽化、利用者減少、新たな複合施設の建設予定地となることなど、判断に至った事情は理解します。</p> <p>一方で、閉鎖によって失われる「町にとっての役割」について、ぜひ検討いただきたく意見します。</p> <p>八千代町は鬼怒川を抱える町であり、これまで幾度も氾濫に悩まされてきた歴史があります。かつて鬼怒川は、通運の要であり、魚釣りや遊び場としても町の暮らしに近い存在でした。しかし近年、河川改修等により遊べる河川敷は減り、日常的に川や水に触れる機会が少なくなっています。</p> <p>その結果として、川に対する距離感や、水の怖さを「体で学ぶ」機会が減っているのではないでしょうか。水や川は、親しさと同時に危険性も持つ存在</p>	<p>B &amp; G 海洋センターにつきましては、施設の老朽化が著しく、今後安全に利用し続けることが困難であること、また、新たな公共施設整備の予定地となることから、総合的に判断し廃止することとなりました。</p> <p>ご意見にあるとおり、水に親しみ、水の特性や危険性を学ぶ機会は、子どもたちの健全な成長や安全確保の観点から重要であると認識しております。</p> <p>現在、町内の学校では、水泳授業の中で着衣のまま水に入る「着衣泳」を実施し、万が一の水難事故に備えた安全教育にも取り組んでおります。これは、水の危険性を理解し、命を守る行動を身に付けることを目的とした水辺の安全教育として重要な取組であると考えております。</p> <p>また、町を流れる鬼怒川においては、過去に溺水事故により尊い命が失われた事例があり、同じ河川であっても場所によって流れが急で危険</p>

	<p>であり、どのように恐れ、どのように付き合うかは、知識だけでなく体験を通じて身につくものだと思います。川の事故がなくならない背景には、こうした体験不足も一因としてあるのではないかと感じています。</p> <p>B &amp; Gプールは、八千代町内で水に触れ、水の特性や危険性を学ぶことができる数少ない場であり、とりわけ子どもたちにとって貴重な学びの機会でした。町内唯一のプールが廃止されるのであれば、代替となる取り組みをあわせて検討・実施していただきたいです。これは、必ずしも「新たな施設」を求めるものではありません。</p> <p>例えば、以下のような形が考えられるでしょうか。すでに行われているものもあるかもしれません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、地域と連携した「水に親しみ、水を怖がる力を育てる」水辺教育・安全教育</li> <li>・河川管理者等とも連携した、危険箇所の見える化（看板、周知）と、安全な水辺体験の設計</li> <li>・近隣施設の活用や、期間限定の仮設的な水遊び・泳ぎの学習機会の確保</li> </ul> <p>プールの閉鎖は単なる施設の廃止ではなく、町が水とどう付き合うかという課題にも関わる判断だと思います。鬼怒川と共に暮らしてきた町として、水辺との関係を次世代に引き継ぐための代替策を、閉鎖とセ</p>	<p>な箇所と比較的穏やかな箇所が存在することから、こうした水辺の特性についても子どもたちが正しく理解することが重要であると考えております。今後は、河川管理者や関係機関と連携しながら水辺の危険性や注意点について学ぶ機会の充実に努めてまいります。</p> <p>現在、町内の学校プールにつきましては、老朽化により7校中3校が使用できない状況にあり、これまで2校が海洋センターを活用して水泳授業を行って実施しておりました。</p> <p>海洋センター廃止後は、使用可能な学校プールを学校間で共同利用するほか、隣接市において広域的に運営している温水プールの活用についても検討を進めてまいります。</p> <p>また、水泳学習以外の水辺体験につきましては、新井調整池において海洋クラブが主体となり、カヌー体験を実施しており、水辺の安全指導を含めた取組を継続してまいります。</p> <p>海洋センター廃止後も、関係団体や河川管理者等と連携しながら、水辺の安全に関する学習機会の充実に努めてまいります。</p> <p>町といたしましては、子どもたちが水に親しみ、安全に学ぶ機会が将来にわたって確保されるよう、可能な方策を講じてまいります。</p> <p>また、B &amp; G海洋センターの記録については、何らかの形で残していくように検討してまいります。</p>
--	---	---

	<p>ットで具体的に示していただ けるよう要望します。</p> <p>なお、B &amp; G海洋センターが あったことは町にとっての歴 史の一つです。象徴的な看板 や、定礎があれば歴史民俗資料 館と連携して残し、写真撮影を ておくことが、次世代への社 会教育としても求められるこ とと思います。</p>	
--	--	--

問合せ先

八千代町教育委員会 教育部

スポーツ振興課 スポーツ振興係(総合体育館内)

TEL 0296-48-2469(直通)